



京都女子大学×UR

この冊子は、京都女子大学の学生が制作したものです。

京都女子大学×UR 洛西NT団地リノベーションプロジェクト

対象物件 ●「洛西境谷東」京都府京都市西京区大原野東境谷町一丁目1番地 ●「洛西竹の里」京都府京都市西京区大原野東竹の里町二丁目1番地
 *本冊子に掲載されている図面は生活スタイルをイメージして家具等をレイアウトしたものであり、写真は家具・什器・小物等を配置したモデルルームのものです。玄関ホール・廊下・キッチン・洗面所の照明以外は標準仕様には含まれていません。
 本プロジェクトに関する詳細は下記URLをご覧ください。
 京都女子大学 <http://www2.kyoto-wu.ac.jp/gakubu/kasei/zokei/index.html>
 UR都市機構 西日本支社 <http://www.ur-net.go.jp/kansai/kyojo>

発行元 独立行政法人 都市再生機構 西日本支社
 〒536-8550 大阪府大阪市城東区森之宮一丁目6番地85号
 発行 2014年1月

京都女子大学×UR 洛西NT団地リノベーションプロジェクト



古き良き × 学生

古き良き日本の住まい、団地。舞台は京都市中心部から少し西に位置する洛西ニュータウン。
 積み重ねた年月の分だけ育まれた豊かな緑。団地を訪れ、その環境に圧倒される私たち。
 「ただ…、豊かな環境であっても」とも思う。価値観が多様化した現代、多様な間取りが求められている。
 若い世代にも受け入れられるこれからの団地を考えたい。
 若い女性の視点と学生ならではの自由な発想で、団地の未来を考える。

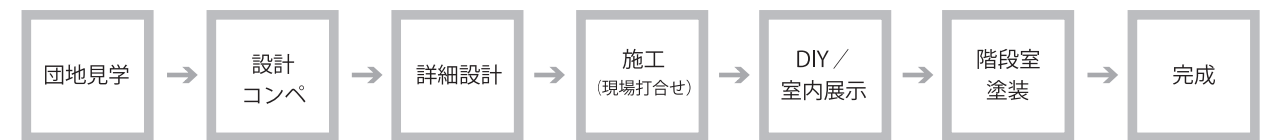


プロの仕事人たち × 学生 × 居住者

一見、舞台の華やかな主役は私たちが、実はプロジェクトは、多くの専門家たちとの共同作業だった。さまざまな手配に奔走してくれたURの職員さん、丁寧に施工してくれた施工業者さん、そのほかにも影で支える多くのプロの仕事人がいた。

そして忘れてはならないのが、居住者さん。団地の、ハードな住環境はURらプロ集団がつくるけれども、コミュニティ等のソフトな住環境をつくるのは居住者で、両者は住環境をつくるチームなのだ気づいた。私たちはその触媒のような存在で、普段は見えづらいチームの絆を浮かび上がらせるのが役割なのだろう。

私たちの提案は、団地の未来にかかわれるだろうか。



リノベーション前の間取り

境谷東団地 3DK (61-64㎡) タイプ
 64㎡ ; 18-704 / 14-501 / 14-1004
 61㎡ ; 18-103

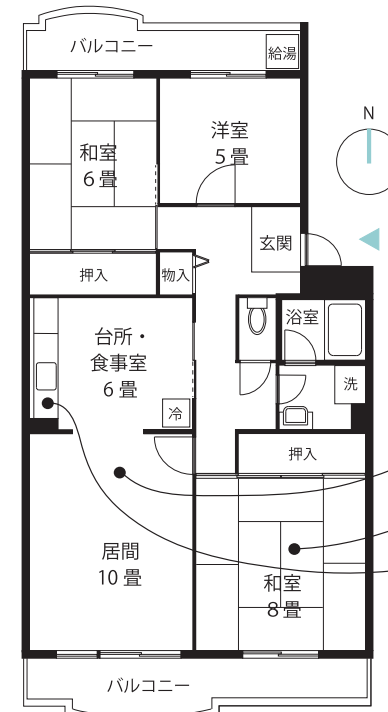
私たちが考えたこと

- ・和室が多くて、若い家族には住みにくそう。
- ・冷蔵庫置き場が、最近の冷蔵庫の大きさに対応できていないのでは？
- ・家族人数も今はそんなに多くないし、もっと部屋数は少なくていいのでは？
- ・キッチンやお風呂、トイレの設備は古いなあ。



03

竹の里団地 3LDK (81㎡) タイプ



- ・カーペットは、アレルギーのことがあるので、やめたほうがいいかも。
- ・部屋の数が多いけど、もう少し減らして個性を出したい！
- ・キッチンやお風呂、トイレ設備は、大きく変更はできないそうだけど、見た目だけでも新しくしたいな。

04



「らしく、くらす。」 室内を貫く土間、自分好みに描ける水色の黒板壁など、趣味を暮らしの中心にすることで、あなたらしく住むことを楽しめる空間をつくりました。(設計；上条祐里菜、蜂谷華穂)

05

境谷東 18-103 号室

居住者が自ら創るすまい

1室を残して、他はすべてひとつの空間としました。ただし曲線の土間で領域を分けています。図面のように、ダイニングとリビングに分けてもいいですし、家で仕事をする人の場合には、プライベート空間とオフィス空間に分けることも可能です。



曲線の土間。そのままバルコニーにつながっています。



寝室。和室から洋室に変更しています。 玄関。 洗面所。

06



07 「無限のハコ」
境谷東 18-704 号室

部屋を細かく区切っていた壁をとっばらい、広がった空間。そこには無限の可能性があり、住む人が自由に「住みたい部屋」をつくることができます。(設計；合尾麻里, 岡村明香)

ライフスタイルに合わせて変化するすまい。
南側の3室をひとつにつなげ、東西両側の壁面に間接照明付きの棚としました。図面では、リビングとダイニングに分けていますが、家族のライフサイクルに合わせて、キッチンの西側をリビングダイニング、東側を書斎にすることも可能です。



ダイニング側からキッチン越しにリビング側を見たところ。上部に間接照明があります。



ダイニング側の壁面の棚。



洗面所。



09 「アトリエ de 境谷東」
境谷東 14-501 号室

小さな団地の中だって創造力は無限大…。壁一面にある棚は「ものづくり」が「暮らし」の一部になるようにという思いが込められています。(設計；鶴園遙)

南北の部屋をつなげて明るく。
南北を分けていた押入の一部を取り払ってつなげることで、北側が明るい空間となりました。回遊できる動線にすることで、アトリエとリビングは、ひとつの空間として使うこともできますし、別々の空間に分けて使うことも可能です。



アトリエ側。壁面収納の一部が机になっています。



床はナチュラル系です。



シャワーヘッド付きの機能的な洗面台。



11

「魅せる、味せる、満ちる」

境谷東 14-1004 号室

デザインにこだわった棚を設置し、空間をおしゃれに作りかえました。素敵で自分らしいライフスタイルを。(設計；足立早智子, 坂東菜月, 山田若菜)

普通の生活に自分らしさを。

間取りは、和室を洋室化したことと、冷蔵庫置き場を確保した以外はあまり変えず、飾り棚を加えたり、漆喰風の塗り壁にしたり、キッチンの流し台の把手を取り替えたりと、細かい部分のデザインにこだわっています。普通のように、少しおしゃれな生活を。



(写真左上) 寝室の四角い棚
(写真左中) 漆喰風の塗り壁
(写真左下) 把手を替えた流し台

(写真右上) リビングの飾り棚
(写真右中) 玄関の全身鏡
(写真右下) 流線形の洗面台

12



13

「見える、魅せる、見つける」

竹の里 13-102 号室

リビングに腰壁を設けることで、空間を分けながらも互いの様子がわかります。家族の距離感を大切にしている家です。(設計；福嶋友美, 増田翠)

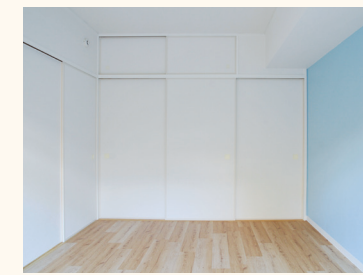
腰壁によって視線を適度にさえぎる住まい

リビングとつながるプレイルームは一段高くなっていますので、子どもは腰壁から親の存在を確認しながら遊ぶことができます。プレイルームは書斎としても使えます。



リビングとプレイルームの間の腰壁は、印象的なインテリアでもあります。

DIYのカウンターを置いたキッチン。



一面だけ水色に塗られた寝室。

ポップな壁紙の洗面所。

14



15

「One Step」
竹の里 16-203 号室

家族にとって新たな生活の一步を踏み出してもらえるように設計しました。北側には夫婦寝室を広くとり、大人の空間を充実させました。(設計；泉飛鳥，浦成美，北村綾子)

夫婦の時間を大切に。
北側の2室をひとつにつなぎました。それにより夫婦寝室内にリビングスペースが生まれました。南側の子ども室は和室から洋室に変更しました。

寝室内の収納。 寝室と廊下の間をすりガラスにすることで廊下が明るくなりました。

ウォールステッカーの張られた子ども室。 洗面所。

16



17

「Open×Close」
竹の里 13-105 号室

住戸南側は人々が集いあつらげる空間に。北側は収納や寝室を集約したクローズな空間に。オープンとクローズを使い分けた住まい方を提案しました。(設計；中野睦子，松井史佳)

広々としたリビング空間。
南側は大きなひとつの空間にし、押入も取って書斎コーナーとしました。北側の1室は集約的な収納空間としました。寝室は和室のままですが、現代的なインテリアにしました。

かつての押入を取り払ってつくったリビングの書斎コーナー。 掃き出し窓があるため、明るいウォークインクローゼット。

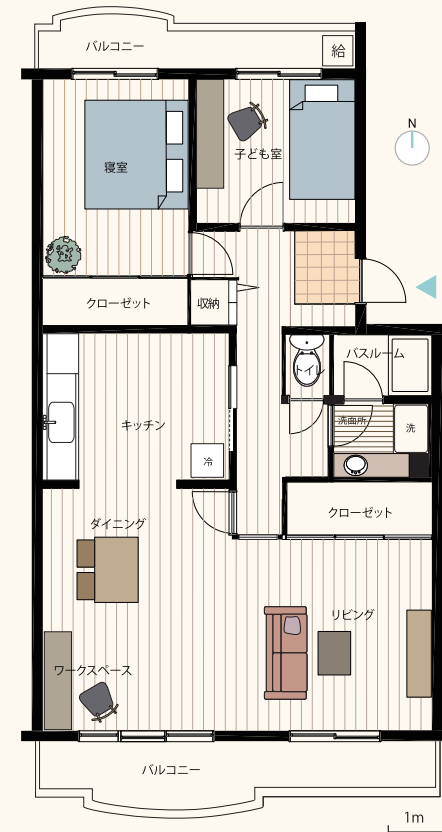
市松模様に敷かれた畳。 洗面所。

18



「shop『my house』」
竹の里11-202号室

間取りの変更を最小限におさえ、代わりに材料の質感を大切に、内装にこだわっています。思わず人を呼びたくなるお店のような家を目指しました。(設計：伊東綾香)



ディテールにこだわった家

南側は2室をひとつにつなげました。また、子ども室は和室から洋室に変えました。金物などの細かい部分にこだわり、女性らしいインテリアにしました。



リビングのガラスブロックと棚。 玄関。 洗面所。



団地暮らしを満喫するためのバルコニー。 こだわりの金物類。(左上) キッチン流し台 (右上) 洗面台 (左下) 棚 (右下) トイレ

サイドストーリー (掲載順)

- 悩むことも多かったけれど、全て素敵な思い出です。DIYも楽しく、愛着いっぴいのBOXになりました。(上条 祐里菜)
- こだわりの曲線の土間、はじめは実現不可能といわれていたが、URの方と施工者さんのお力添えで実現できたことが感激です。(蜂谷 華穂)
- 自分たちが考えたものが、実際につくりだすことかとても嬉しかったです。(合尾 麻理)
- 設計する楽しさと難しさを学外で体験できたことが私の貴重な財産になりました。(岡村 明香)
- 自分が住みたい家というイメージがあった。お合点のために、どんどんとびが、ていこのも見るのが、すごく楽しかった。(鶴岡 悠)
- 素材選びが楽しかった。とにかく苦労もしたけれど、素敵な経験をさせてもらった。(足立 早智子)
- リノベーションプロジェクトを通して住まいについて深く考えることができました。今回の経験を今後活かして更に素敵な提案をしていきたいです。(坂東 果用)
- 学生である自分が作り手側として実際に施工に携わることができ、良い勉強になりました。ありがとうございます。(山田 若菜)

- 学生生活最後にこんな素敵なプロジェクトに関われることが出来て、嬉しく思います。終わりがあればいい！(福嶋 友美)
- 規模の大きいプロジェクトに関わっていい経験が出来満足です。壁紙などこだわった遊び心が気に入ります。(増田 翠)
- 団地見学から5ヶ月、設計、コンペ、現場打ち合せ... 算完成までとても長く、大変な1年だったけれど、とても貴重な体験ができました！(泉 飛鳥)
- 換業では踏み入れることのはかた、予算や素材について考える良い機会になりました。(浦 成美)
- 自分達のアイデアが実際にカタチになる喜びを感じることができました。大変でしたがいい経験になりました。(北村 綾)
- 自分たちの考えたプランが実際に施工されて完成した時にほんと達成感がありました。(中野 睦子)
- より実践的な設計をやるのが初めてで大変でしたが、とても良い経験になりました。(松井 史佳)
- 施工者の方に「いい家に仕上がろうぞですね」と言われたことが実現できて、嬉しさと感謝の気持ちがいっぱいです。(伊東 綾香)

お世話になった方たち (逆50音順・敬称略)

- UR staff
URの各担当さん。住戸リノベーションから塗装ワークショップまで、たくさんお世話になりました。
- Takenosato team
竹の里団地の施工者さん。無理も言いましたが細かな注文も実現して下さいました。
- Yasuno
URの管理・建築両方にまたがる責任者です。コンペでは、案の良いところに注目して積極的に褒めて下さいました。
- Sakaidani team
境東団地の施工者さん。明るく場を和ませつつ、学生の想いを形にして下さいました。
- Matsumoto
施工会社JSさんの責任者です。専門用語が難しく学生が困っていると、いつもやさしい笑顔で説明して下さいました。
- Koi
JSの担当者さん。8住戸の現場を同時にこなして大変なのに、いつもこやかで丁寧に対応していただきました。
- Hori
URプロジェクトの進行役。とても明るく場を和ませるムードメーカー。私達を娘のように心配してくれました。
- Oonishi
UR西日本支社長。今回私たちに機会を与え、広い心で学生の意見を尊重し、誰にでも気さくに話かけて下さいました。
- Hamanaka
UR担当者。フットワークの軽さはピカイチ。学生のサポートを一番近くでしてくれました。ロードバイクなど多趣味です。
- Oota
学生広報担当。京大blog更新を他のゼミに所属しながら行ってくださいました。毎回のブログ更新が楽しみでした。
- Hasegawa
URの担当者で現場のリーダー。学生のアイデアを実現するため親身に相談にのって最善の策を考えて下さいました。
- LS
大学のスタッフ。退職された岩田さんも含め、学生を一番近くでサポートしてくれる、頼りになるお姉さん方です。
- Nakahata
毎日広告社のデザイナーさん。私たちの指定した物品を買い付けたり、冊子づくりをサポートしたり、影が大活躍！
- Inoue
ゼミの先生。先生の常に客観的なアドバイスとサポートで、みんな乗り越えることが出来ました。大好きな先生です！

編集後記

この冊子を作成することが決まり、忙しく日々過ぎていきました。企業と共同で仕事をするという初めての経験と、学業との両立に私たちは最初は戸惑いました。厳しい日程の中、様々な方の協力や温かい支援により完成させることができました。貴重な機会を与えて下さったURの方々、サポートしてくださったデザイナーの中畑さん、素敵な写真を撮ってくださった平野愛さん、そして井上先生に感謝を申し上げます。ありがとうございました。(大西佑果・古賀奈津美)

2013.7.10コンペ参加者による記念撮影

学生たちが精一杯の本気で取り組んだ作品が完成しました。ここにしかないURの賃貸住宅です。楽しんで見てください。(京都女子大学学長 川本重雄)